

外郭団体特別委員会審査から①

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月29日と8月7日、20日に開催され、日本共産党神戸市議員団の山本じゅんじ議員、朝倉えつ子議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月29日 建設局

神戸市道路公社

災害備え 万全の安全対策を

朝倉えつ子議員

昨年7月の豪雨災害で六甲北有料道路の長尾ランプから神戸三田インター間が通行止めになりました。朝倉議員は、道路公社として日常の安全点検や事前対策をどのようにおこなっているのか見解を求めました。

答弁ダイジェスト

道路管理部長：平成25、26年度の点検で緊急措置が必要な所はなかったが、予防的に対処必要な所は対処済みである。平成30年度、令和元年度に改めてすべての対象構造物の近接目視点検を行い、その対処についても計画的に進めていきたい。

朝倉議員：毎年全体を見て情報を積み重ねていく必要があるのではないかと。

道路管理部長：毎年全てを近接目視点検するのは労力と費用がかかる。

朝倉議員：道路が寸断されるということは、暮らしそのものが立ち行かなくな

るだけでなく、命にかかわる問題だ。費用が必要なのであれば、国だけでなく市に対しても支援を求め、さらに万全な対策に乗り出すべきだ。

その他の質問

神戸市公園緑化協会

山本じゅんじ議員

- 生垣緑化等助成について
- 運動公園の管理運営について



7月29日 水道局

神戸市水道サービス公社

安定経営のためにも 人材の育成・確保を

山本じゅんじ議員



神戸市の人口減少などの問題に伴い、更なる財政状況の悪化が見込まれることから、メ

ーター検針業務などの受注がなければ公社の存廃を問われます。そのため、中期経営計画では新規事業に注力することが課題となりました。山本議員は、人的確保と新規開拓については不可分なもので、次期経営計画ではこれらをどのように盛り込んでいくのかを質しました。

めたい。

山本議員：今後は、業務の拡大と人的確保だけにとどまらず、いろいろな知恵を出しながら職員のモチベーションも維持し、安定した経営ができる方策を検討

するべきだ。

その他の質問

- 小規模受水槽について

8月7日 市長室

公益財団法人 神戸国際協力交流センター

コミュニティセンターは アクセス便利な駅前へ

山本じゅんじ議員

国際コミュニティセンターは、外国人市民のための生活相談や学習支援・情報の提供をおこなっている施設で、年間5万1000人の方々が利用しています。開設当時は、神戸国際会館にありましたが、2009年に貿易センタービルへ移転。山本

議員は、利用者の利便性を考えれば中央区役所の中や、三宮駅前などアクセス便利な場所が望ましいのではないかと質しました。

答弁ダイジェスト

専務理事兼事務局長：利用者アンケートをとっているが、負担に感じるという声はない。当センターは全市のワンストップセンターとして全区と連携がとれているので、特に場所を変えなくても役割は十分に果たせている。

(2面につづく)

答弁ダイジェスト

公社常務理事：今のところ、次期計画でどのように掲げるかまで議論は進んでいない。公社としての考えは年内にまと

 **ストップ改悪!** 
敬老・福祉パスをまもろう

山本議員：ワンストップセンターという位置づけであるとするれば、もう少し立地的にもアクセスしやすいところにある

て、誰でも行きやすい環境を整えておく必要があるのではないかと。

————— **その他の質問** —————
●日本語サポーターの活用について

8月7日 市民参画推進局

公益財団法人 神戸市民文化振興財団

市民のニーズに応え 快適な区民センターに

————— 朝倉えつ子議員

北区は、人口に比較し、体育、文化施設が少ないため、北区民センター競技場の利用率は、ほぼ100%で、利用者からは毎月申請初日はひしめき合っ

す。朝倉議員は、「エアコンがなく室温31度を超える競技場で、子ども達が運動をしている。近年、熱中症が問題になる中、対策が不十分ではないか」と見解を求めました。

答弁ダイジェスト

専務理事兼事務局長：周辺に体育施設が少ないのでたくさんご利用いただけて非常にありがたい。施設の老朽化もあり、正直暑さ対策は追いついていない。北区民センターは避難所ではないので、

今後予算的なことも含めて市とよく相談して検討したい。

朝倉議員：北区民センターが今後避難所となるケースがあることも想定すべき。利用者のニーズに応えることはもちろん、命にかかわる問題なので、早急にエアコンを設置していただきたい。

————— **その他の質問** —————

●須磨区民センターと北須磨文化センターは両方存続を

————— 山本じゅんじ議員

公益財団法人 神戸いきいき勤労財団

最低賃金を 下回らないよう対応を

————— 朝倉えつ子議員

兵庫県の最低賃金審議会の答申を受け、最低賃金が10月から899円に引き上げられます。これまでもシルバー人材センターの賃金が最賃を下回らないよう、求めてきました。朝倉議員は、「高齢の方が安上がり

の労働力として扱われる事態は財団の主旨にも反し、波及拡大されれば、一般の労働者の状況も厳しくなる」と、財団に対応を求めました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：今までも再三、指摘してきましたが、最低賃金を下回る事業者への対応はどうなっているのか。

常務理事兼事務局長：最低賃金に近い業者には改定のお願いの文書を出している。今後も、依頼文の発送とともに、電話や会社訪問等も行い改定をお願いする。

朝倉議員：上がったといっても900円に満たない。ご協力をお願いではなく、強く要請を。

常務理事兼事務局長：精いっぱい頑張っ

————— **その他の質問** —————

●シルバー人材センターの就業率について
●勤労会館の運営について

————— 山本じゅんじ議員

●神戸市勤労者福祉共済（ハッピーパック）の公報について

————— 朝倉えつ子議員

8月20日 都市局

神戸新交通株式会社

リストラ計画遂行見返りに 組合幹部に不正給与

————— 朝倉えつ子議員

ポートライナーなどを運行する「神戸新交通」が労働組合役員に賞与や超過勤務手当の名目で給与を不正に支出していた問題で、延伸事業の失敗などで悪化した経営を立て直すため、企業再生計画として、職員の定数削減や賃金カットをおこなうこと

の事実上の見返りに、同社と労働組合の幹部の一部が労務対策費として年360万円を支給する覚書を2010年9月に結んでいたことが明らかになりました。しかし、委員会審査では、当時の総務課長は「全く記憶がない」と関与を否定。さらに、現総務課長は5月31日の連合審査会で、日本共産党森本真議員から「巨額の闇給与についていつから知っていたのか」という質問に対しての、「4月以降に初めて聞いた」との答弁が虚偽であったこと、覚書と企業再生計画がリンクしたものと認めました。朝倉議員は、「重大な責任と受けとめ、職員に対して真摯な対応を」と強く求めました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：5月31日の連合審査会後すぐに答弁が虚偽であったと報告を受けていたそうだが、今日までの約3ヶ月間放置していた。今日の審査会で質問が出な

ければずっと真実を隠し続けるつもりだったのか。

代表取締役社長：そのようなつもりはない。メンバーがかわって引き継ぎされた後の審査会でお詫びを申し上げるつもりだった。

朝倉議員：実際質問をされるまで謝罪されなかったが、結局隠蔽体質がずっと続いているのではないのか。信頼を取り戻すためには全て明らかにし、誠実に話すことが大事。民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、真摯な対応を強く求める。

————— **その他の質問** —————

●ポートライナーの需要予測と利用実績について

————— 山本じゅんじ議員

傍聴にお越しく

西ただす議員が登壇します

9月18日から神戸市議会がはじまりました。平成30年度神戸市決算が審査され9月26日に代表質疑がおこなわれます。ぜひ傍聴にお越しく

日時 **9月26日(木) 10時から(共産党持ち時間 80分)**

場所 **市議会本会議場** 市役所1号館25階で傍聴手続きをお願いします